

Japan Coast Guard Journal [海上保安庁情報誌]

かいほジャーナル

【特集】 移転して一年が経過した
石垣航空基地

vol. 58
2014 spring



愛します! 守ります! 日本の海

海上保安庁
JAPAN COAST GUARD



石垣航空基地

Japan Coast Guard Journal CONTENTS Vol.58

表紙



石垣航空基地の基地職員

グラビア

日印海上保安機関 長官級会合及び海賊対策等連携訓練	1
西之島付近の新島が接続、さらに拡大	1
国際緊急援助隊専門家チーム フィリピン派遣	2
1月18日は「118番の日」です.....	2
海上保安庁音楽隊 全国で海上保安庁をPR.....	3

【特集】

移転して一年が経過した 石垣航空基地	4
-----------------------------	---

- 石垣航空基地から八重山地方へ
命のたすきはここから繋げる
- 無事故2万時間達成
自身を支えたものは『飛行業務のやりがい』

トピックス

管区バージョン・ご当地バージョン 「うみまる」と「うーみん」の紹介	10
--	----

NEWS FLASH	12
-------------------------	----

INFORMATION	裏表紙
--------------------------	-----



格納庫での訓練の様子



日印海上保安機関 長官級会合及び 海賊対策等連携訓練



佐藤海上保安庁長官はインドを訪問し、平成26年1月13日(月)、ニューデリーでインド沿岸警備隊 タブリヤル長官と会合を行い、海賊対策の連携強化やインド周辺国の海上法執行能力向上の強化等について意見交換を行いました。

また、翌14日(火)には、コーチン港沖において実施された海賊対策等連携訓練を視察しました。この訓練には、巡視船「みずほ」が参加し、インド沿岸警備隊との連携強化を図りました。



平成25年11月20日の状況



平成26年2月11日の状況

平成25年11月20日に西之島付近の海上に出現した新島は、出現後も噴火活動を継続させており、12月26日には、火口から流れ出た溶岩流によって西之島と接続し、両島が一体となっていることを当庁の航空機が確認しました。

接続後も、噴火活動を続けていた西之島

は、火口から流出する溶岩によってさらに大きく広がり、平成26年2月11日現在、今回の噴火活動により新たに形成された陸地の東西幅は約900メートルに達しました。

これにより新たに形成された陸地面積は約0.45平方kmとなり、これは東京ドーム約9.5倍の大きさに相当します。



西之島付近の新島が 接続、さらに拡大



国際緊急援助隊 専門家チーム フィリピン派遣

平成25年11月、台風30号の影響により、フィリピン共和国中部パナイ島で発生した船舶の座礁に伴う流出油災害に対応するため、同国政府の要請に基づき、同12月4日から13日までの間、機動防除隊員2名を含む職

員4名を国際緊急援助隊専門家チーム(油防除)として派遣し、フィリピン沿岸警備隊の職員等に対する油防除作業手順・方法についての指導・助言等の活動を実施しました。



海上保安庁では、海上における事件・事故の緊急通報用電話番号として、警察の110番や消防の119番のように覚えやすい局番なしの電話番号「118番」の運用を平成12年5月1日から開始しました。

平成22年には1月18日を「118番の日」と制定しており、今年の「118番の日」には多くの方へ知ってもらうため全国各地で様々な普及活動を行いました。



1月18日は 「118番の日」です

海上保安庁音楽隊は、国民の皆さんに海上保安庁を広く知っていただくため、演奏を通じたPR活動を行っています。

今回、平成25年11月から平成26年3月に行った演奏会をご紹介します。



海上保安庁音楽隊 全国で海上保安庁をPR



①平成25年11月9日(土)

『第20回定期演奏会』

(東京都品川区)

会場には一般応募の中から抽選で選ばれた方など、約1,400名の方々にご来場いただき、映画音楽など合計11曲の演奏を楽しんでいただきました。

②平成26年1月22日(水)

『海上保安庁音楽隊&石垣市立石垣第二中学校ジョイントコンサート
in南(ぱい)ぬ島』(沖縄県石垣島)

音楽隊と石垣第二中学校によりそれぞれ演奏を行うとともに、ジョイントステージでは総勢80名超による大迫力の演奏をお届けすることが出来ました。



③平成26年2月5日(水)

『ランチタイムコンサート』

(東京都千代田区)

この演奏会は音楽隊員が普段勤務をしている霞ヶ関で行われました。

霞ヶ関で勤務する方々をはじめ、一般の方々にも多くお越しいただき、テナーサクソソロなどをお楽しみいただきました。

④平成26年3月9日(日)

『こどものためのコンサート』

(長野県岡谷市)

音楽隊による子ども達が良く知っている曲を集めた演奏のほか、歌手の井上あずみさんとのコラボステージもあり、普段からあまり海と接する機会のない親子連れにも楽しんでもらった演奏会となりました。



移転して1年が経過した

石垣航空基地

新石垣空港に隣接し、日本最南端に位置する航空基地。これが石垣航空基地だ。新石垣空港開港に伴い、2013年3月7日に航空基地も新たに拠点を移した。今回、業務を開始して一年を迎えた石垣航空基地を紹介する。

取材文／石川雅章（エスクリナー）

最先端の石垣航空基地

第十一管区に所属する石垣航空基地は、尖閣周辺海域しゅう戒、沿岸海域しゅう戒、離島からの急患輸送などの業務を行っている。

領海警備や、遭難者の救助などの事案に対応し、南の海を守るのが、ここ石垣航空基地なのだ。

高温多湿の気候の中、基地職員たちは日々、どのような環境で業務にあたっているのだろうか。

石垣航空基地は庁舎と格納庫が一体構造になっている。これにより庁舎と格納庫間の往来が便利になり、タイムロスの軽減につながっている。

そして、石垣航空基地の設備で最も注目すべきところは、全国14か所ある航空基地の中で初めて格納庫の空調設備を導入したことと、機体洗浄装置を設置したことだ。格納庫の空調設備の導入によって格納庫で

の整備環境がよくなり、作業効率も格段に上がったと笑顔で話す基地職員たちの表情が印象的だ。また機体洗浄装置の導入により、洗浄作業時間を大幅に短縮することができる。

これらの設備の充実による業務の効率化により、有効に使える時間が増えたことと他の業務にあてる時間が増えたという。

『格納庫も拡張され多様でより質のよい訓練もできる。』そう話すのは、篠崎雅由基地長だ。石垣航空基地は旧航空基地と比べ、庁舎は約2倍、格納庫は約1.5倍の床面積となった。『広い格納庫があるとそれだけ訓練の幅も広がり、設備も充実する。訓練場所以外にも、事務室、会議室、シャワールームなど様々な設備を備え、仕事をするうえで快適な環境にある。非常にいい基地だ。』と語る篠崎基地長の顔は、実に誇らしげである。



第七管区海上保安本部 福岡航空基地所属「うみかもめ」と石垣航空基地格納庫



石垣航空基地から八重山地方へ

命のたすきは

ここから繋げる

機体洗浄装置で
洗浄されている「うみかもめ」

石垣航空基地ならではの 充実した設備

石垣航空基地は、固定翼機2機と回転翼機2機、計4基が所属しており、南国特有の気候の影響による塩害が深刻でその対策として機体洗浄装置を新設した。

これは全国の航空基地の中でも初めての導入である。エンジンをかけたままの航空機が洗浄装置の上に停止すると、4トンもの水が吹き出し、航空機を包み込む。2分も経たないうちに洗浄は終了する。今までの洗浄作業時間がおよそ30分かかるので大幅な時間短縮で業務の効率化につながっている。実際の洗浄の光景は、まさに圧巻の一言だ。水滴をふき取る基地職員たちによつて、機体は清々しい輝きを取り戻していく。

洗浄を終えた機体は、給油を行いつつ出動に備えることになるが、この給油にも新しい石垣航空基地ならではの特徴がある。地下に旧基地には無かった燃料タンクがあるのだ。この地下タンクにより、いつでも燃料を補給することができ、航空機の急な出動にも



格納庫空調設備



石垣航空基地所属航空機「かんむりわし」

対応可能だ。また、石垣島という離島にある基地のため、燃料を運ぶ船が欠航する場合に備え、常に地下タンクでの燃料のストックに役立っているのだ。

広々とした格納庫は、所属する機体とその数にあわせた広さを十分に考慮して設計されているという。その格納庫に空調設備が導入されたことよつて、洗浄後の機体乾燥が早くなり、腐食対策にも効果があること期待されている。新しい基地は、機体にとって、そこで働く基地職員にとつても快適な環境であることが見て取れる。

さらに庁舎と格納庫の屋上には太陽光発電装置が備えられており、こつてつくれる電力は格納庫の空調設備をはじめ、庁舎で使われている電力の一部に充てられる。環境にも配慮した造りとなっている。



太陽光発電装置



地下燃料タンク及び
ローリー車給油施設

降下員が担う重要な役割

石垣航空基地には、機動救難士がいない。そのかわり、ヘリコプターから降下して救難業務を行う降下員の役割が重要である。

降下員は、潜水士のように海には潜らず、機体から陸上及び大きな船舶に降下し救助活動を行う石垣航空基地のパイロットや整備士たちだ。彼らは自身の業務に専念するだけではなく必要な研修、訓練を経て降下員としての知識と技術を身に付け、任務に備えているのである。



格納庫での救助活動の訓練

チームワークが

鍵を握る救助活動

ヘリコプターによる救助活動は、パイロット、ホイストマン（機体を誘導し、ホ

イストケーブルを操作する整備士）及び降下員が共に息を合わせ、一つ一つの動きを確認しながら行われるため、三者のチームワークが重要・不可欠である。ホイストマンと降下員との間は手先を使用した信号を用い、降下員同士は確認動作を声に出してコミュニケーションを図っている。

この日行われた訓練は、患者の容態に応じて吊り上げ資機材を使い分けるため、『エバックハーネス』という簡易な資機材と『ワイヤーストレッチャー』という担架をそれぞれ使用して機体に患者



2人1組となり作業動作の確認を行う隊員

を収容するまでの手順を繰返し確認していた。訓練とは言え、基地職員たちの顔は真剣そのものだ。訓練途中に、時折動作が止められることがあった。

『さっきの動作の確認はそれでいいのか。』その都度、修正し、精度を高めていくのである。訓練をする方も大変だが、指導する方も細やかな神経を使っていることがわかる。それだけ命の重みが彼らにかかっているのだ。

少しでも、疑問に思うことは、全員でディスカッションを行うという。どんな状況でも冷静に正しい判断をするために、こうした日頃の訓練によって情報を共有し、共に考え、能力を高め合い実動に備えている彼らの姿はとても頼もしい。

石垣航空基地が繋ぐ離島の命 急患輸送業務という使命

石垣航空基地には十分な医療設備が整っていない離島で発生した救急患者を輸送する『急患輸送』という任務がある。1973年8月8日には沖縄県知事と第十一管区海上保安本部長との間に『沖縄県内における救急輸送等の救援に関する申し合わせ』が取り交わされている。離島に住む人々にとって、急患輸送はなくてはならない命綱となっているのだ。

『年間にして80〜90回の出勤回数

がある。2014年2月10日までに輸送件数は2700件、輸送人数は2750名を超える。』そう語るのは大河内克朗次長だ。その膨大な数字から、いかに石垣航空基地の急患輸送業務が、離島の人々の命を守っているかわかるだろう。



コックピットの入念なチェックを行う石崎機長

救急患者は24時間365日、どのようなタイミングで発生するかわからない。基地職員はいつでも対応できるように、24時間体制で出勤に備えている。彼らの高い使命感が、島の急患輸送を支えており、命を繋いでいるのだ。

無事故飛行2万時間達成

自身を支えたものは 『飛行業務のやりがい』

無事故飛行2万時間という偉業を見事達成したのが大泉彰上席飛行士だ。多くのパイロットが40代という年齢で引退をするなか、現役を貫かれた大泉さん。いったい何が、大泉さんの心を突き動かしたのか…その想いに迫った。

前代未聞の偉業を成し遂げた大泉さんは、さぞかし厳しく寡黙な人柄なのであろう…緊張する我々の前に現れた大泉さんは、いい意味でイメージとは違った。

実に穏やかな人柄であり、落ち着いた雰囲気をもっていた。そして、優しい笑顔と声で自身の想いについて語ってくれた。

飛行科 大泉彰 上席飛行士 (59)

現役を貫き、無事故飛行2万時間達成を支えたものとは何だったのか。我々の質問に大泉さんは『飛行業務のやりがい』と言い切る。乗る機体は何でもいい、飛行業務が好きという気持ち、パイロットの幅を広げる。もちろん、長い勤務歴の中には自身の体調の変化に戸惑ったり、葛藤する時期もあったが、そんなときも大泉さんの心を支えたものはやりがいの一言だったという。

次の仕事のステップに進むため、または身体的な問題で40代でパイロットを引退する者もいるが、経験を積み、脂がのってきた時期に飛行業務を離れるのは航空の現場にとってこんなにもつたないことはない。ずっとそう考えていた大泉さんは、『飛行業務のやりがい』と『飛行業務が好きという気持ち』を支えに、自らが現役を貫いてきたのである。

マナーレターの油断が一番怖い

飛行士として現役を貫く。それは、並々ならぬ影の努力や勉強の積み重ねがあつてこそ。加えて、精神面や身体面も整えなくてはならない。

大泉さんは常に、定期的にパイロットの国家試験の問題を解き、事故事例の情報を収集し、自分だったらどのように対処するかを、自分の身に置き換えて考えることにしているという。また、休日も勤務日も運動を欠かさない。そうすることで、自身の心を引き締めることができるからだ。どん

などときでも、業務に慣れた、経験を積んだと自惚れてはならない。マンネリと心の油断が一番の敵なのだと言語る。大泉さんの目は落ちつきの中にも鋭さが光る。

やりがいのあるフライトが 一番正しいフライトである

業務を遂行する上で大切にされていることは何ですかと投げかけてみた。大泉さんの答えは『団結と信頼』。科を越え、組織を越えた信頼関係が、安全な業務遂行の要であるのだという。

大泉さんは『乗組員にしかわからない喜びがあるのだ』と続けて自身の経験を語ってくれた。

『台風による悪天候の中、羽田から鹿児島に向かう途中、日本から外国に向かう2名乗りのヨットが遭難しているとの連絡があった。とても捜索できる状況ではなかったが、ほんの瞬、雲の隙間からヨットを発見した。その後、1〜2マイル過ぎたあたりで、すでに脱出し、2名が乗っていたゴムボートを、偶然に発見する事が出来た。乗組員が手を振っている姿を確認し、自衛隊に連絡したところ無事自衛艦による救出に成功した。』『いくら我々が見つけたからといって、航空機での救助が困難な場所では、船による救助がなければ、大切な命を救う事が出来なかつたかもしれない。あんなとき救助できた気持ちには忘れられない、何にも代えがたい、乗組員にしかわからない喜びだ。それがやりがいにつながる。』そう話す横顔は力強い。

難しい状況を目の当たりにし、判断を下し動かなければならない時が多々ある。何が正しいか考えることは、この業務を遂行する上で非常に大切なことであるが、その正しさの答えは大泉さんに言わせると『どのような状況でも、フライトのなかにやりがいを見つけること。それが一番正しいフライト。』なのだ。

今までの飛行生活での宝物はありますかと最後に伺った。

答えはもちろん『信頼』、心と心のつながりを大切に。偉大なパイロットの言葉はあたたかく、そしてずっしりと重みがある。

その重みはこれまで培われてきた経験と、日々向き合っている人命の重さ、そして大泉さんに向けられた多くの仲間たちからの信頼によるものであろう。

原動力は『目的』 何のために仕事をしているかを忘れない



石垣航空基地は多い年には年間約100件と急患輸送がとても多く、常に緊張して現場に向かうことを心がけていました。入庁したのは『レスキューしたい』という目的があったから。どんな時でもこの目的を胸に刻み、業務に臨んでいます。

どのようにすればよりよい方向に進むのか、より一層の信頼関係が築けるのか、向上心を忘れずに日々、業務と向き合っています。

飛行科 石崎 正彦 機長 (32)

小陳がいたら安心だ 早くそう言われたい



通信員として、航空基地と航空機の無線連絡や、無線の整備や補修業務を行います。フライトしているときに無線連絡が出来ないと、機体の安全な航行に支障がでてしまうので重大な責任を感じながら業務にあたっています。

尊敬する先輩方に少しでも近づけるように、そして『小陳が搭乗しているから安心だ』と言ってもらえるように、信頼される通信員になりたいです。

通信科 小陳 椋太郎 通信員 (22)

『海を守りたい』という 想いが、この仕事の きっかけでした



副操縦士として、機体の運航や天気の情報を入力し、機長の補佐として業務を遂行しています。海上保安大学校時代に航空基地を見学した際、『海を守るためには、飛行機も必要なのだ』と感じたのです。

常に考え、常に自身を振り返ることを大切にし、海を守り続けたいです。

飛行科 井口 貴行 飛行士 副操縦員 (27)

好きな言葉は 『目配り気配り思いやり』



人の個性がわかれば、その人の仕事の進め方がわかる。その人の仕事の進め方がわかれば、作業を先回りすることができ、準備ができると教わってきました。そんな『気配り目配り思いやり』の姿勢で仕事することを大切にしています。

まだ目の前のことで精いっぱいですが、周りからもっと必要とされる整備士を目指しています。

整備科 遠藤 篤志 整備員 (21)

誇りを胸に抱き、 誰からも認められる 海上保安官に



石垣航空基地に勤務して4月で3年になります。沖縄出身ということで、『海を守りたい』という気持ちが子供の頃から強くありました。

将来は、航空整備士の資格をとり、より一層仲間たちから信頼される海上保安官になることを目指しています。『整備士として信頼されること』『誰から見てもいい海上保安官になること』これが、いまの私の大きな目標です。

整備科 中野 僚 整備員 (23)

佐渡
海上保安署

佐渡たらい舟と
うみまる・うーみん



佐渡海上保安署

第九管区海上保安本部

新潟航空基地
新潟海上保安部

新潟県

能登海上保安署

上越海上保安署

七尾海上保安部

伏木海上保安部
金沢海上保安部

富山県

長野県

第九管区
海上保安本部

上杉謙信に扮したうみまると
直江兼続に扮したうーみん



石川県

福井市
福井海上保安署

福井県

敦賀海上保安部

伏木
海上保安部

富山の薬売りに扮したうみまると
町娘に扮したうーみん



金沢
海上保安部

七尾
海上保安部

前田利家に扮したうみまると
まつ(芳春院)に扮したうーみん

第九管区
海上保安本部

「うみまる」&「うーみん」の紹介

管区バージョン・ご当地バージョン

海上保安庁のイメージキャラクターである「うみまる」・「うーみん」は管区やご当地オリジナルのバージョンがあり、地域の皆様により一層親しんでいただけるように各地で活躍しています。

今号では第八管区及び第九管区の「うみまる」・「うーみん」をご紹介します。



©JCGA



隠岐
海上保安署

ライフジャケットを着用した
うみまる・うーみん



隠岐民謡「キンニャモニャ」を
踊るうみまる・うーみんを
描いた隠岐いぐり凧

隠岐海上保安署

第八管区
海上保安本部

牛突きの牛に跨るうーみんと
牛の手綱を引くうみまる

天橋立とうみまる



香住海上保安署

宮津海上保安署

境海上保安部

美保航空基地

鳥取海上保安署

舞鶴海上保安部

小浜海上保安署

松江市

鳥取県

兵庫県

第八管区海上保安本部

京都府

京都市

島根県

浜田海上保安部

神戸市

第八管区
海上保安本部

浜田
海上保安部

石見神楽を踊る
うみまる・うーみん



FLASH



一管区

紋別大仙スキー場で「118番」普及イベント

(1月18日 紋別海上保安部)



三管区

118番トレインにうみまるが乗車

(1月18日 清水海上保安部)



二管区

ショッピングモールで
118番周知活動

(1月18日 八戸海上保安部)



四管区

「海猿」原作者、小森陽一さんが
トークショーで海上保安庁PR

(1月18日 第四管区海上保安本部)



八管区

舞鶴地区初!クインまいづるとともに
118番街頭キャンペーン

(1月18日 第八管区海上保安本部)



五管区

年始制圧訓練初め

(1月6日 和歌山海上保安部巡視船「きい」)



七管区

118番街頭周知活動

(1月18日 長崎海上保安部)



九管区

道の駅で118番PR

(1月18日 七尾海上保安部)



四管区

関係機関合同潜水初め

(1月14日 中部空港海上保安航空基地)



NEWS

六管区



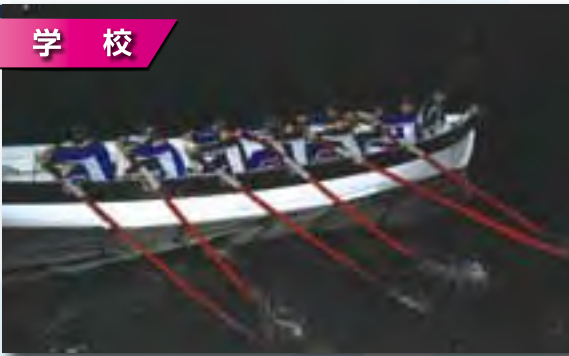
「うみまる」「ドナルド・マクドナルド」の
海上安全・防犯教室開催 (12月2日 松山海上保安部)

三管区



富士川滑空場における油処理剤
空中散布装置の運用訓練 (1月24日 第三管区海上保安本部)

学 校



平成25年度早朝訓練
(12月16日～24日 海上保安学校)

十管区



第二管区の標体を第十管区で運用
(12月19日 第十管区海上保安本部)

十一管区



沖縄初!国民保護共同実働訓練開催
(1月17日 第十一管区海上保安本部)

五管区



日本赤十字社香川県支部との
協定調印、合同訓練
(1月23日 高松海上保安部)

大学校



平成25年度耐寒訓練
(1月27日 海上保安大学校)

二管区



震災から3年
塩屋崎灯台の一般公開再開
(2月22日 福島海上保安部)

一管区



オホーツク海南西海域の海水観測
(2月13～19日 釧路海上保安部巡視船「そうや」)

INFORMATION

大切な命!自分で守る

～海上保安庁からのお願い～

マリンスポーツを安全に楽しむために、事前に海の気象情報・安全情報を収集し、
もしもに備えて、自己救命策3つの基本を守りましょう!

「自己救命策3つの基本」

1



海に落ちても沈まない

ライフジャケットの着用

2



水中でも大丈夫(防水バックの使用)

携帯電話の携行

3



海のもしもは……

118番の活用

海上保安大学校・海上保安学校採用試験

海上保安庁では、当庁の職員の養成機関である海上保安大学校及び海上保安学校の学生を募集しています。試験は、高等学校等卒業者を対象に行われます。試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、最寄りの海上保安本部または海上保安庁総務部教育訓練管理官付学校教育係(Tel: 03-3580-0936)までお気軽にお問い合わせください。



平成26年度採用試験日程



海上保安学校学生採用試験(特別)

【受付期間】《インターネット》平成26年4月1日～4月8日
《郵送・持参》平成26年4月1日～4月4日
【第1次試験】5月18日

海上保安学校学生採用試験

【受付期間】《インターネット》平成26年7月22日～7月31日
《郵送・持参》平成26年7月22日～7月25日
【第1次試験】9月28日
【HP】<http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/>



海上保安大学校 学生採用試験

【受付期間】《インターネット》平成26年8月28日～9月8日
《郵送・持参》平成26年8月28日～9月1日
【第1次試験】11月1日、2日
【HP】<http://www.jcga.ac.jp/>



■学生採用試験ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/saiyou/bosyu/index.html>